

第53回JCM定期大会、2014年9月2日、東京

ユルキ・ライナ・インダストリアル・グローバルユニオン書記長
挨拶

140カ国で5,000万人の製造・エネルギー・鉱山労働者を組織化するインダストリアル・グローバルユニオンを代表して、全日本金属産業労働組合協議会（JCM）の第53回定期大会で心を込めて連帯のご挨拶ができることは、私にとって非常に光栄であり、大きな喜びです。皆様方は世界的なインダストリアル・ファミリーの重要なメンバーです。

JCM 結成 50周年にもお祝い申し上げます。JCMはその歴史を通じて、旧国際金属労連（IMF）および現インダストリアル・グローバルユニオンで、グローバルな労働組合運動において大きな役割を果たしてこられました。

2014年5月に亡くなった瀬戸一郎氏にお悔やみを申し上げたいと思います。瀬戸さんは1957年にIMF日本事務所を開設なさり、組織化活動を支援するとともに、日米欧の組合間の関係を築いて相互理解を深めました。これを受けて、その後IMF-JCが結成され、主要組合間の政治的障壁を取り除いて1つの強力な労働運動に統合し、1964年のIMF加盟に至ったのです。

瀬戸さんはIMF-JC初代事務局長であり、その後1977年から1993年までIMF書記次長を務め、日本で統一を促進する先駆者となりました。全世界、特にアジアの金属労働者の間で連帯と協力の構築に精力的に取り組んだ瀬戸さんの努力を、私たちは心からの感謝の念をもって記憶にとどめています。

世界の状況は当時から大きく様変わりし、今日の境界なきグローバル化した世界では、これまで以上に国境を越えて一致協力する必要があります。5大陸すべての労働者の力を結集するだけで、すべての労働者とその家族の生活改善を目指す闘いに成功を収めることができるのです。私たちの計画は以下のとおりです。

より強力な組合を組織して強化する必要があります。組合員数を増やして組合の力を強化する必要があります。

関連産業を支配する**多国籍企業に対抗する労働組合の力**を築く必要があります。インダストリアルは主要企業ですでに何十もの組合ネットワークを構築しており、日本企業でもネットワークが発展していることをうれしく思います。

労働組合権を確保することによって、すべての労働者が自ら選んだ組合に加入し、労働協約の保護を享受する権利を持てるようにする必要があります。結社の自由を促進するためにJCMが積極的な役割を果たしてこられたことに感謝申し上げます。皆様方はアメリカ、メキシコ、インド、タイ、インドネシアなどを歴訪し、同志に連帯・支援を提供するとともに、日本企業に労働者の自由な選択を尊重させておられます。

不安定雇用をなくす必要があります。10月7日のディーセントワーク世界行動デーに関連して、インダストリアルは再び加盟組織に組合員の動員を呼びかけています。日本からのカラフルな写真もお待ちしています！

最後に、**人を最優先する経済・社会モデル**を求めて闘う必要があります。政治的意思決定者に圧力を加えて、持続可能な産業雇用の創出への投資を求め、すべての市民の社会的保護を確保する必要があります。

今回も、大会代議員と JCM 指導部に**女性**が増えていることをうれしく思います。西原さんがインダストリアル・アジア太平洋地域議長として大きな役割を果たして下さったおかげで、5月にバンコクで開催されたインダストリアル地域大会は、世界指導部の全レベルで女性代表 40%を達成するという目標を採択しました。産業界および組合指導部において、企業・国家・世界レベルで女性を増やすために協力しましょう。男性だけで決定するよりも、男女一緒のほうが優れた決定を下せます。

最後に、今日 JCM を退任なさる親愛なる 2 人の同僚、西原浩一郎議長ならびに若松英幸事務局長とお別れしなければなりません。フィンランド人と日本人は昔からうまくやってきました。けれども、この場合は、お二人のお人柄、思いやり、真摯に仕事に取り組む態度すべてのおかげで、私は気楽に気持ちよく皆様方とともに働き、成果を上げることができました。お二人のご支援、ご協力に衷心から感謝申し上げます。ご健康とゴルフのハンディ改善を願っています！

新指導部の幸運をお祈りします。JCM が近年アジア太平洋地域ならびに全世界で表明してこられた多大な支援と連帯が、これからも続くと信じております。労働者とその家族の生活改善を求めて、引き続き皆様方と協力していきたいと思っております。大会のご成功、そして日本、アジア太平洋地域および世界における皆様方の貴重な活動のご成功をお祈り申し上げます。